




さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況(令和4年度(2022年度))

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度(2022年度)の取組結果(成果・課題)		参考(グラフ・写真・ホームページ等)
				令和4年度(2022年度)の取組結果(成果・課題)	令和5年度(2023年度)の取組目標	
基本方針1 市民の読書環境の充実と情報活用の支援						
◆取組の方向性◆ (1) 市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実を図る						
①文字・活字文化に親しむ基盤の整備						
1	図書館サービス係	効果的・効率的な資料収集	寄贈図書を有効活用しながら購入資料を選定するとともに、検討を行ってきた資料の複本・保存・更新の在り方に基づき、引き続き中央図書館、地区図書館、区民・地区センター図書室等、札幌市の図書施設全体での効果的・効率的な資料収集に努めます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○令和3年度に策定された「札幌市図書館使用選定基準」「札幌市えほん図書館資料選定基準」「札幌市図書館・情報館資料選定基準」「札幌市図書館資料収集要綱」「札幌市図書館資料選定会議要綱」に基づき資料収集を図った。また、新たに寄贈本についての「判断基準フローチャート」を作成し、効果的な資料活用を図った。	蔵書構成 2011 2022 0% 20% 40% 60% 80% 100% ■総記 ■哲学 ■歴史 ■社会科学 ■自然科学 ■技術・工学 ■産業 ■芸術 ■言語 ■文学 ■児童書 ■その他	
			達成度	A		【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き制定された基準に沿った資料収集を進めるとともに、寄贈図書の有効活用により、限られた財源の中でのタイトル数確保を図る。
			2	地域支援係		図書館及び図書室で役割を終えた本を学校図書館や児童会館、幼稚園等の各種団体で再利用するために、無償譲渡を行うなど、図書館と団体との連携を図り、再利用図書の有効活用を努めます。
3	地域支援係	市民からの寄贈本を学校等で再利用する「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」の利用促進を図り、寄贈図書の有効活用を努めます。また、インターネット予約システムを活用した学校向け団体貸出によって、子どもや教員へ図書館の蔵書提供を図っていきます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」については、「札幌市図書館再活用ネットワークセンター」へ、計9,947冊を提供した。 ○学校向け団体貸出については、59校に計4,367冊を貸し出した。	寄贈本の「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」への提供数(全館分)		
4-①	図書館サービス係	テーマ別の図書展示の充実	時事的な話題や季節の行事、社会の動きなどを考慮しながら、幅広い分野にわたるテーマを設定し、関連する図書の展示や情報提供、ブックリストの配布を行うことにより、本棚の本を眺めるだけでは得られない新たな本との出会いの場を提供していきます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○展示実施状況 ・通常展示: 12回(「札幌で100冊」「図書館員も語りたい」「お金のこと税のこと」「徹子の本棚」他) ・連携展示: 8回(消防局、障がい福祉課、健康企画課、保険企画課、国際部 他) ・ミニ展示: 43回(「漫画の日」「プロレスの日」「漱石忌」「パンまつり」「黒い本」「冬を食べる」他) 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○書庫の本が利用者の目に触れる機会を増やすため、テーマ展示に積極的に活用し、新旧取り揃えて魅力的な展示となるよう心掛ける。また、様々な本に出会えるよう、利用者の関心をひく展示の取り組みを実施する。	 ●テーマ別の図書展示	
4-②	地域支援係	テーマ別の図書展示の充実	時事的な話題や季節の行事、社会の動きなどを考慮しながら、幅広い分野にわたるテーマを設定し、関連する図書の展示や情報提供、ブックリストの配布を行うことにより、本棚の本を眺めるだけでは得られない新たな本との出会いの場を提供していきます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○こどもの森の展示は計38回行った。 ・新入生などの部活入部時期の年度初めに「部活」をテーマにした展示を行い、併せてブックリストを配布した。 ・「パパに読んでほしい本」をテーマにした展示を行い、ブックリストを配布した。 ・ハロウィンやクリスマスなどの季節の行事や小学生の自由研究など実施時期を考慮し、展示を行った。 ○袋の中にどんな本が入っているかわからない状態で貸出をする「本のおたのしみ袋」を季節ごとに年4回実施した。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き幅広いテーマの設定と展示やブックリストの配布を行い、新たな本との出会いの場を提供する。	 ●絵本の展示(春の本)	
5	図書館サービス係	日本語を母語としない方への対応の強化	日本語を母語としない方もわかりやすい表現で書かれた資料の収集や、翻訳アプリを活用した接客等、日本語の理解が十分でない方への読書支援を行います。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○「利用案内」の英語バージョンの内容を一部修正し、内容をより分かりやすくした。 ○日本語の理解が十分でない方に対して、ポケット(通訳機)を活用して対応した。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○「利用案内」や「館内パンフレット」、「図書館ホームページ」の内容を、各国の言葉で案内できるように、国際部と調整を行う。		
③読書や図書館に触れる機会の提供						
6	地域支援係	図書館の利用普及・連携事業の充実	文化人や専門家などによる講演会など、普及事業に取り組んでいきます。また、積極的に他の施設や企業などとの連携を図り、市民へ多様な情報を提供します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○児童向け行事 CISEネットワーク(※1)「石狩湾をもっと知ろう!」連携講座(36人参加)、北海道日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーン(北海道主催)への参加協力 ○児童・一般向け行事 「カルチャーナイト2022」への参加(No.60参照) ○一般向け行事 「サイエンス・フォーラムinさっぽろ」(札幌科学談話会・市博物館活動センターとの連携、計2回、計156人参加)、 「美術への誘い」(一般社団法人北海道美術館協会との連携、計2回、計23人参加)、 「子どもの権利を考えるフォーラム」(Sapporo・チャイルド・ライツ プロジェクトとの連携、20人参加) ○市立中学校へCISEネットワーク「調べる学習支援トランクキット」(※2)の貸出(40件)(No.53-①参照) ※1…札幌周辺地域の教育施設が連携し、地域住民への実物科学教育を進めるネットワーク。博物館・科学館・動物園・図書館など。 ※2…トランクで持ち運びできる生き物の教材。ヒグマやサケ、恐竜の資料・標本など。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○サイエンス・フォーラムinさっぽろについては、連携する市民団体の担い手が減少していることから、実施可能な方法を検討する。 ○その他の講演会についても、図書館での実施意義を念頭に置きながら、他の施設や企業、市民団体との連携を積極的に行い、市民がさまざまな情報を得られる場を提供していく。	 ●カルチャーナイト	
7-①	図書館サービス係	読書や図書館の実務に触れる体験型イベントの実施【新規】	図書館についてより理解を深めようという目的で、展示のテーマ決めや選書など、通常図書館職員が行っている業務について利用者自身に行ってもらい、実際に展示するなど、実務やバックヤード等を体験する形のイベントを実施します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○図書館に関心を持っていただけるよう、Instagramを開始。投稿数は83回。 ○出前講座の内容で、休館日にバックヤード見学を実施。コロナ禍であったため、実施は1団体のみ。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○Instagramでの情報発信を継続しつつ、バックヤードツアー等、体験型イベントを企画する。	 札幌市中央図書館Instagram公式アカウント ユーザー名「infolibrysapporochouo」	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
7-②	地域支援係	■読書や図書館の実務に触れる体験型イベントの実施【新規】	図書館についてより理解を深めてもらうため、展示のテーマ決めや選書など、通常図書館職員が行っている業務について利用者自身に行ってもらい、実際に展示するなど、実務やバックヤード等を体験する形のイベントを実施します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○司書の仕事を体験する児童行事「一日司書体験」（定員6名）を開催し、100人以上の応募があった。 ○学校教育課で実施した「特色ある図書館活用取組発表」（No.46参照）の発表校のうち2校を対象として、中央図書館の蔵書の展示を行ってもらう機会を初めて設けた。展示のテーマ決めから選書、ブックリストの作成まで行い、うち1校は実際に図書館で展示作業も行った。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○いずれも好評であったため、今後も継続して実施する。	 <p>●中学校図書館による展示</p>
④新たな読書機会の創出 重点					
8	地域支援係	■電子書籍サービスの推進	障がいや育児、仕事など様々な理由で来館が困難な方に対する図書館サービスをより充実させるため、他部局と連携して広報を行うなど電子図書館の利用を促進します。また、GIGA端末が整備された小中学生に対する電子図書館の利用を促進する取組を検討します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○電子書籍に関する案内を視覚障がい者情報センター及び身体障害者福祉センターに配布し、他部局等との連携を図った。 ○電子図書館のIDとパスワードをモデル研究校の小中学校6校の小中学生に配布し、実際に朝読書等で利用してもらった。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○庁内連携事業先の部局や児童会館などに電子書籍に関する案内の配布を依頼するなど、他部局や他施設と連携した広報を行う。 ○モデル研究校の取組について、利用状況等の分析を行い、今後の電子図書館の運営に役立てる。 ○小中学生に対する電子図書館の利用促進のため、電子書籍の読み放題パックを購入し、予約待ちせずに同時に何人でも読めるコンテンツを増やすなどの取組を行う。	 <p>電子書籍の所蔵数と貸出冊数</p>
9	情報化推進担当係	■貸出・返却拠点設置の検討【新規】	介護・育児等、多様な事情により来館時間の確保が困難な方など貸出（受取）・返却の利便性を図るため、新たな図書館サービスポイントの配置について検討します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○図書資料の貸出（受取）・返却の新たなサービスポイントの配置について、宅配ボックスを活用した貸出・返却の手続き方法や、ICタグによる蔵書管理方法など、サービスポイントの機能面について検討を行った。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、図書資料の貸出（受取）・返却の新たなサービスポイントの配置について検討を進めていく。	
10	図書館サービス係・地域支援係	■他施設へのアウトリーチに関する調査・研究【新規】	学校や施設と連携し、これまで図書館サービスが及ばなかった市民に対しサービスを広げていくための調査・研究をします。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○図書館職員が小学校2校に訪問し、子どもたちに図書館の利用方法やサービスについての説明を行ったほか、中学校1校に訪問し、レファレンスや展示などについて出前授業を行った。 ○札幌駅前通地下広場で開催されたサイエンス・フェスティバルに出展し、図書館を利用していない方に対しても利用案内や読書ノートなどの配布を行った。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○身近に図書館のない学校にとっての訪問は好評であることから、今後も積極的に行う。 ○図書館の外で開催されるイベントなどに出展して本の展示、ブックリストや利用案内の配布を行うなどの図書館サービスを広げていくための取組を行う。	 <p>●サイエンス・フェスティバルに出展</p>
◆取組の方向性◆ (2) 来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実を図る					
⑤特別な支援を要する方へのサービスの充実					
11	図書館サービス係	■高齢者・障がいのある方向けの資料の充実と利用環境の整備	高齢者や障がいのある方へのサービスとして、大活字本や拡大写本などの収集、拡大読書器の設置、郵送貸出などサービスの充実と、情報提供の促進を図ります。また、障がいのある様々な年代の方への望ましい対応について継続的に検討していきます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○大活字本・拡大写本所蔵数：3,646冊 ○超大型絵本：159冊 ○郵送貸出登録者：合計138人（高齢者38人、障がい者96人、障がい者（児童）4人） ○貸出件数：922件 ○貸出資料数：合計5,615（図書5,043冊、雑誌468冊、視聴覚104点） 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○郵送貸出サービスについては、引き続き円滑なサービス提供を目指す。 ○電子書籍は、文字の拡大や読み上げ機能もあることから、障がいのある方への更なる利用促進を図る。	 <p>郵送貸出冊数と登録者数</p>
⑥視覚での認識が困難な方への支援					
12	図書館サービス係	■視覚障がい者情報センターとの情報共有と発信	利用される方の障がいの状態に応じた適切なご案内ができるよう、情報を共有し、様々な情報発信を行っています。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○視覚障がい者情報センターの職員と、情報交換を実施。 ○図書館でのデージー（※2）使用について検討。 ○サビエ図書館（※3）に関する啓発チラシを配架。 ※2…Digital Accessible Information Systemの略で、デジタル録音図書の国際標準規格。 ※3…視覚障がいのある人や活字による読書が困難な人に点字図書や録音図書のデータを提供するネットワークシステム。全国の点字図書館や公共図書館など多くの施設や団体が加盟。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、視覚障がい者情報センターと連携し、今まで以上に必要な方に必要な情報が届くよう更なるPR方法を検討する。	 <p>大活字本・拡大写本所蔵冊数</p>
13	保健福祉局障がい保健福祉部	■サビエ図書館の登録者増加に向けた取組【新規】	サビエ図書館に関する周知を行うほか、サビエ図書館に対応したICT機器の操作について相談に応じるなど、視覚障がいの方がサビエ図書館を活用できるよう取組を実施します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○視覚障がい者情報センターの中途失明者社会適応訓練事業において、日常生活を送るうえで必要とされる訓練とともに、各種相談に応じており、当事者からスマートフォン、タブレットの機器操作に関する相談が多くある。 センターでは、当事者の障がいの程度に合わせて個別に丁寧に操作説明を実施（点字図書館の利用希望者には、機器操作を含めた説明も実施）。 また、サビエ図書館のパンフレットをセンターと中央図書館で配架し、周知した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、視覚障がい者情報センターの中途失明者社会適応訓練事業において、相談当事者の障がいの程度に併せて、個別に丁寧に説明を実施していく。 また、サビエ図書館のパンフレットをセンターと中央図書館で配架し、周知を図っていく。	 <p>●札幌市視覚障がい者情報センター</p>
◆取組の方向性◆ (3) 市民による情報の収集や活用を支援する					
⑦市民の情報収集や活用の支援					
14	調査相談係	■課題解決に役立つ棚づくり	暮らしに身近な課題をテーマ別に選んだ特設展示「暮らし応援棚」をより使いやすくするなど、役立つ棚づくりを目指します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○「暮らし応援棚」の利用促進のため令和3年12月に開設した「暮らし応援棚情報コーナー」において、「認知症」「防災」「テクノロジー」「遺産・相続・成年後見」の年4回テーマを入れ替え、関連する新聞記事やパンフレットなどを配架し、暮らしに役立つ情報提供に努めた。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○中央図書館では1階にも同じような分類の図書が配架されていることから、小テーマの見直しを行い、限られた予算の中で効果的な選書を行うなど、差別化を図ることを検討していく。 ○「暮らし応援棚情報コーナー」は、より最新の情報を提供できるよう入れ替え頻度を高めるよう努める。	 <p>●暮らし応援棚</p>
15	調査相談係	■医療・保健分野など特定分野の情報発信機能の強化【新規】	医療・保健など特定の分野に関する各関係機関と連携し、情報収集と積極的な情報発信に努めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○「暮らし応援棚情報コーナー」において、医療情報の連携を行っている国立がん研究センターがん対策研究所が全国区で実施しているがんの図書の巡回展示を受け入れ、がんの啓発に努めた。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○「暮らし応援棚情報コーナー」において、図書・情報館や関係機関等と連携してパンフレット等の収集に努め、より暮らしに役立つテーマ展示を年4回以上開催する。	 <p>●がんの図書の巡回展示</p>

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
⑧読書を通じた多文化理解の促進					
16-①	地域支援係・調査相談係	■外国語の絵本・児童書の収集及び多文化理解の促進	外国語資料の充実のほか、国際部所属の国際交流員とも連携して外国の文化や考え方の理解促進を図ります。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○洋書絵本所蔵数（全館）3,077冊、洋書児童書（全館）2,320冊 ○国際交流員による「せかいの絵本おはなし会 ドイツ語編」の実施（19人参加） ○留学生による「留学生文化紹介セミナー（飲食から見る台湾文化、カナダの伝説の物語）」の実施（26人参加） 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○外国語絵本による児童向け読み聞かせ又は展示等により、多文化理解の促進を図る。	洋書絵本所蔵数
				達成度 A	
16-②	えほん図書館	■外国語の絵本・児童書の収集及び多文化理解の促進	外国語資料の充実のほか、国際部所属の国際交流員とも連携して外国の文化や考え方の理解促進を図ります。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○外国語の絵本は、英語絵本を中心に主な絵本各賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語等の860冊（令和4年度末現在）を収集・提供している（蔵書冊数内訳：英語520冊、ドイツ語35冊、韓国語25冊、ロシア語20冊、中国語220冊、その他の言語40冊。令和4年度は、購入と寄贈により外国語絵本15冊を受入（全て英語））。 ○登録ボランティア団体による英語絵本をテーマとしたおはなし会の開催（3回、親子8組、19人参加）。 ○行事（図書館デビューミニ）における札幌国際短編映画祭ファミリー＆チルドレン部門出品作品の上映（6回、親子33組、92人参加）。 ○一部の来館者から英語絵本のニーズはあるものの、未就学児に適した英語絵本があまりないという課題がある。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き絵本各賞の受賞作品やロングセラー等を参考にしながら、来館者のニーズに応えることができるよう情報収集し、未就学児向けの英語絵本等の選択的収集に努めていく。 ○登録ボランティア団体が英語絵本をテーマとしておはなし会等の活動を行っていることから、引き続き活動の場を提供していく。 ○海外をテーマとした館内装飾や展示の実施を検討する。	えほん図書館内における言語別絵本所蔵数（日本語を除く）
				達成度 B	
17	調査相談係	■郷土資料、歴史的資料の収集・保存・活用	公文書館等の関係施設と連携し、郷土資料・歴史的資料や地域の資料を収集・保存します。また、収集した郷土資料等を活用した所蔵資料展示や関係セミナーなどを実施します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○郷土資料・歴史的資料や地域資料の収集は、各地区図書館や公文書館など多方面から積極的に情報収集を行い、遺漏がないよう努めた。また、札幌市出資団体・企業史等の発行情報の収集に留意したほか、札幌市のみならず道内市町村の発行物も幅広く収集した。道と連携し、行政資料の収集にも努めた。 ○令和4年8月に札幌市が市制施行100周年を迎えたことを記念して、時計台をはじめとする札幌市の建築物に着目した資料や古い地図、絵葉書などの当館所蔵資料から、札幌市のこれまでの100年を振り返り、これからの100年を考える展示を開催した。 ○展示に併せて「札幌駅前通りとその周辺のまちなか文化」と題して、市内出版社の代表でエッセイストの和田 由美（わだ ゆみ）氏による講演会を開催した（79人参加）。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○関係施設と連携し、郷土資料・歴史的資料、地域資料の収集に努めていくとともに、所蔵資料を活用した展示と関係セミナーを実施する。 ○引き続き、道行政情報センターと連携していく。	郷土資料（道内行政資料含む）の点数の推移
				達成度 A	
◆取組の方向性◆ (4) 読書を支える多様な活動を支援する					
⑨読書活動の推進に取り組む人との連携					
18	保健福祉局 保健福祉部	■視覚障がいの方が利用する図書を製作するボランティアの育成【新規】	点訳・音訳・拡大写本ボランティアの養成講座を実施し、視覚障がい者の方が利用する図書の製作数を増加させます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○拡大写本製作ボランティア養成講習会 令和4年5月17日～令和4年7月19日（全10回） 修了後、ボランティア加入14名 ○点訳ボランティア養成講習会 令和4年9月1日～令和5年12月14日（全58回） 開催中 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○録音図書音訳・校正ボランティア養成講習会 令和5年5月26日～令和5年11月24日（全24回） 開催予定	ボランティア数（年度末時点）
				達成度 A	
19	保健福祉局 総務部	■読み聞かせボランティアの研修	札幌市ボランティア活動センターでは、読み聞かせボランティアの育成・支援の一環として「子どもへの読み聞かせボランティア研修」を行っており、今後もボランティアの資質向上や新たなボランティアの養成に努めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センターにおいて、「絵本の読み聞かせボランティア養成講座」を開催。 <実施回数>全3回（各回とも全1日課程、定員21名） ①：令和4年5月10日、②：令和4年9月13日、③：令和5年1月10日 <受講者数> ①：6名、②：17名、③：11名 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○令和5年度も引き続き講座を実施し、ボランティアの資質向上及び新たなボランティアの養成に努めていく。 <実施予定回数>全2回（各回とも全1日課程、定員21名） ①：令和5年5月26日、②：令和5年9月20日	
				達成度 A	
⑩読書を支える人同士のつながりの醸成					
20-①	地域支援係	■ボランティア連携の支援の検討【新規】	読み聞かせボランティア・個人ボランティア向けに情報共有を呼びかけ、各ボランティアの読み聞かせや、様々な取組の共有化を図るほか、ボランティア同士での相互連携を図っていく機会づくりを検討します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○中央図書館で活動している読み聞かせボランティア団体に対し、ボランティア団体同士の情報共有の場を設けることについての意見を聞いた。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、読み聞かせボランティア団体を対象に情報共有の場を設けるなどして、ボランティア同士での相互連携を図っていく機会づくりの検討を行う。	
				達成度 B	
20-②	えほん図書館	■ボランティア連携の支援の検討【新規】	読み聞かせボランティア・個人ボランティア向けに情報共有を呼びかけ、各ボランティアの読み聞かせや、様々な取組の共有化を図るほか、ボランティア同士での相互連携を図っていく機会づくりを検討します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○えほん図書館に登録しているボランティア団体に対し、おはなし会等の行事の開催場所を提供している（新型コロナの影響により令和3年度まで中止していたが、令和4年度より再開し同年度中に8団体が計45回開催）。毎月発行する「えほんとしょかんだより」に各行事の日程を掲載しており、登録ボランティア団体及び個人ボランティア「えほん図書館サポーター」宛てに毎月送付して情報提供している。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○令和4年度までの取組を継続。 ○更なる取組の検討のため、登録ボランティア団体や個人ボランティアから、情報共有や相互連携等についての意向を聴取する。	
				達成度 B	
基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援					
◆取組の方向性◆ (1) あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる					
⑪子どもが身近な地域で読書に親しむ環境の充実					
21	子ども未来局 子ども育成部	■児童会館における読書活動の促進	児童会館の本の貸出やボランティア・児童会館職員などによる読み聞かせを行います。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○ボランティアや児童会館職員による読み聞かせ活動を実施し子どもたちの読書への関心を高めることができた。また、子どもたちの読書活動の環境を整えるため、図書室の環境整備と利用者の意見を参考に図書の購入を進めた。 ボランティアによる実施事業 1,516回 参加人数 35,599人 ボランティア延べ人数 2,647人 児童会館主催による実施事業 17,250回 参加人数 257,891人 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○ボランティアや児童会館職員、児童による読み聞かせを継続する。また、読書活動により親しみをもってもらえるよう、積極的に子ども同士の読み聞かせの機会を設ける。	
				達成度 S	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
22	生涯学習部	■開放図書館運営による読書活動の促進	開放図書館において、地域ボランティアによる蔵書整理・展示装飾などの環境整備や、子どもを中心とした読み聞かせなどの行事を企画・実施します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○新規実施校を含む120校の開放図書館で、開放司書を始めとする3,568名のボランティアが活動し、図書の出貸・返却等の基本業務や、蔵書展示・館内装飾、簡易的なレファレンスサービスなどを行った。 ○読書活動の推進を目的とした行事については、少人数での実施や、放送設備を活用した読み聞かせなど、感染症対策に配慮し、計1,764回行った。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、地域ボランティアが簡易的なレファレンスサービス等を含む基本業務を行う。また、感染症拡大防止のため自粛していた活動や、規模を縮小して実施していた行事等については、状況を見ながら少しずつ以前の活動に戻していけるよう実施していく。	●学校図書館地域開放事業(札幌市公式ホームページ) https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shogaikyoiku/reike/tosho/kgaiyo.html
		達成度	A		
23	学校教育部	■札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査	3年ごとに実施している「札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査」の調査項目に、読書に関する項目を設け、子どもの読書に関する実態の把握に努めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○令和4年度は基礎調査実施無し。「札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査」は3年ごとに実施している。直近では令和2年度が調査年度であった。 【参考】令和2年度の調査結果 ・質問35…地域の図書館を利用する頻度（ほぼ毎日、週に1～2回の回答） [小5] 18.9%、[中2] 5.1%、[高2] 3.6% ・質問36…1か月の読書量（0冊の回答）[小5] 11.1%、[中2] 22.3%、[高2] 25.5% 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○令和5年度は、基礎調査実施年。子どもの読書に関する実態把握に努めるとともに、令和2年度との比較を行う。	読書が好きなお子さんの割合 (参考)札幌市教育委員会独自調査
		達成度	A		
⑬学校図書館の読書環境の充実					
24	生涯学習部	■学校図書館の図書整備の推進	学校図書館図書標準の達成に努めるとともに、必要な図書を更新していけるよう、必要な予算確保に努めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○各学校へ図書予算を配分。蔵書調査結果を各学校に提示し、学校図書館図書標準を踏まえた計画的な図書の整備を行うよう周知した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き各学校へ図書予算を配分する。	●学校図書館図書標準(文部科学省公式ホームページ) https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/016.htm ※公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準を定めたもの
		達成度	A		
25	生涯学習部	■寄託図書の充実	小・中学校全体の共用図書である寄託図書について、今後も子どもが読書や調べもの学習等で十分活用できるよう、蔵書の充実を図ります。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○事務局会議：3回 ○新規寄託図書整備：小学校 895冊、中学校 599冊 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、運営委員会は書面開催、担当者研修会は中止した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○運営委員会、事務局会議、担当者研修会の開催 ○新規図書購入による寄託図書の充実、不用図書の廃棄	
		達成度	A		
26	学校教育部	■学校図書館活用事例の共有	学校図書館の活用に関するリーフレット等の発行や、児童生徒による取組発表会を通して、これからの学校図書館のあり方や利活用の事例等を発信し、各学校における学校図書館の機能の充実を図ります。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○学校図書館活用リーフレット第3号・第4号・第5号を発行し、全校種に配布。札幌市の学校教育の重点に掲げられている「人間尊重の教育」「ICT」「校種間連携」をテーマのもと、活動例を学校図書館の三つの機能別に紹介する等により、学校図書館のあり方や機能の充実、利活用についての情報を発信した。 ○特色ある図書館活用取組発表会において、中学校5校(伏見中・屯田北中・栄南中・元町中・厚別北中)の図書委員会(図書局)による取組事例を札幌市公式ホームページ等で発信した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○令和3年度、4年度に発行した学校図書館活用リーフレットを活用し、学習における学校図書館の一層の利活用を促進し、学校図書館の機能の充実を図る。 ○特色ある図書館活用取組発表会において、市内中学校の図書委員会(図書局会)取組事例を札幌市公式ホームページ等で発信することで、学校図書館の活用と読書活動等の促進を図るとともに、各学校の取組を市民に向けて発信する場とする。	
		達成度	A		
27	学校教育部	■学校司書の配置	学校図書館の機能を強化して生徒の読書への興味や関心を向上させ、読書活動や学習活動を促進します。また、司書教諭をはじめとする教員と学校司書が連携して学校図書館を活用した学習を行い、その取組内容を共有していきます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○市立全中学校96校に学校司書を配置した。 ○学校司書配置校においては、学校図書館の三つの機能強化として、特に「学習センター」機能や「情報センター」機能の充実を図るため、レファレンス機能の充実、学習において学校図書館及び図書資料を活用を促進した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○市内中学校96校(義務教育学校後期課程を含む)に引き続き学校司書を配置する。 ○教科等での学校図書館の活用の機会が増えているが、学校図書館の機能の充実、学校司書、教員、学校の連携強化により、一層の学習での学校図書館活用を進める。	 ●中学校の図書局における取組事例の発信
		達成度	A		
28	学校教育部	■学校図書館ボランティアの派遣	学校図書館の利用が一層促進されるように、司書の資格や子どもに関わる活動経験等を有する学校図書館ボランティアを派遣し、貸出業務や環境整備、子どもの主体的、意欲的な読書活動や学習活動を支援します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○開放図書館が設置されていない小学校73校に学校図書館ボランティアを162名を派遣した。 ○学校図書館ボランティアが派遣された小学校においては、書架整理、環境整備、図書修理、読み聞かせ等の取組を行い、読書活動の充実を図った。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き開放図書館が設置されていない小学校に学校図書館ボランティアを派遣し、子どもの読書活動の充実を図る。	
		達成度	A		
⑭子どもが利用する施設の読書環境の充実					
29	子ども未来局子育て支援部	■子育てサロンや保育所開放における読書活動	子育てサロンや保育所開放で、親子を対象とした読み聞かせや、保護者を対象とした絵本に関する講座を実施します。また、子育てサロンや保育所開放、こそだてインフォメーションの絵本の整備を進めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○子育てサロンや保育所開放において、職員や子育てボランティアによる読み聞かせを実施。(読み聞かせ回数についてはNo.31を参照) ○子育てサロンや保育所開放において、親子が手に取り絵本にふれやすい環境を作る。 ○各区保育・子育て支援センターや区健康・子ども課で実施の子育て講座において、絵本や読み聞かせに関する内容の講座を実施。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○子育てサロンや保育所開放において、親子への読み聞かせを引き続き実施する。 ○区保育・子育て支援センター子育てサロン、こそだてインフォメーション、保育所等の絵本の整備を行う。	
		達成度	A		
30	子ども未来局子育て支援部	■おすすめ絵本の紹介や貸出の実施	絵本に対する興味や関心を高め、より多くの絵本に親しみきっかけづくりとなるよう、子育て支援センター等で、おすすめ絵本を展示するなどの取組を実施します。また、家庭での読み聞かせを通して親子のふれ合いを深められるよう、絵本の貸出を行います。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○子育て支援総合センター、各区保育・子育て支援センター子育てサロンにおいて季節に合わせた絵本やおすすめ絵本を展示、紹介した。 ○各区保育・子育て支援センター、こそだてインフォメーションにおいて絵本の貸出を実施。(5,471回) 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○各区保育・子育て支援センター、各区こそだてインフォメーション、保育所等においておすすめ絵本の展示や紹介を行い、家庭での読み聞かせにつながるよう情報提供を行う。	
		達成度	A		

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）																		
				令和5年度（2023年度）の取組目標																			
31-①	子ども未来局子育て支援部	■絵本の読み聞かせの実施	乳幼児が絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうことができるよう、教員、保育士、ボランティアによる読み聞かせを行います。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○子育て支援総合センター、各区保育・子育て支援センター子育てサロンにおいて、利用親子を対象に職員やボランティアによる読み聞かせを実施。（3,103回、26,276人） ○各区保育・子育て支援センター保育係、保育所において園児に向けて日常的に読み聞かせを実施。																			
		達成度	A	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○子育てサロンなどにおいて、子育てボランティアが読み聞かせを行う機会を作る。 ○日常的に様々な機会を通して、職員による読み聞かせを実施する。																			
31-②	学校教育部	■絵本の読み聞かせの実施	乳幼児が絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうことができるよう、教員、保育士、ボランティアによる読み聞かせを行います。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○教員の読み聞かせにより、幼児が絵本への親しみをもつとともに、友達と一緒に見たり聞いたりすることで幼児同士が共感し合い、物語の世界に浸りながら遊びを広げるなど、イメージを豊かにしたり生活の潤いを得たりする機会につながった。絵本への親しみから自ら絵本に触れじっくり見入ったり、図鑑や科学絵本で分からないことを調べ、知り得たことを友達と伝え合ったりするなど、楽しむ姿につながった。 ○保護者やボランティアの読み聞かせは、コロナ禍のため、積極的な取組は控えた。	 <p>●絵本の読み聞かせ</p>																		
		達成度	A	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○幼児が様々な絵本に親しみ、興味や関心を広げていくように日常的な読み聞かせを継続する。 ○保護者や外部ボランティアの読み聞かせを再開し、読み手との触れ合い、より多彩な読み聞かせを楽しむようにする。																			
32	子ども未来局子育て支援部	■絵本基金「子ども未来文庫」事業	企業や団体、市民の皆様からの絵本の寄贈を募り、絵本基金「子ども未来文庫」の絵本として子育て支援総合センター、各区保育・子育て支援センター、市立保育所、各区こそだてインフォメーションなどにおいて子どもが絵本とふれあう機会を広げていきます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○ホームページ等での広報活動により、新規の企業、個人からの寄贈があった。 ○複数の企業より前年度に引き続き寄贈の申し込みがあり、札幌市所管の子育て支援施設、札幌市立保育所等で絵本の充実を図ることができた。 ■令和3年度寄贈絵本 19件 1,143冊 ■令和4年度寄贈絵本 18件 998冊																			
		達成度	A	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○ホームページやさっぽろCSRインフォメーション等の広報を活用し、周知する。																			
④親子で利用できる図書館や居場所としての図書館の研究																							
33	えほん図書館	■乳幼児・保護者向け行事の実施	乳幼児が図書館を利用するきっかけとなる機会や親子で絵本に親しむ場を提供するため、子どもの発達段階に応じたおはなし会やワークショップ等の行事を実施します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 新型コロナウイルスの影響により中止していた集合型行事を段階的に再開した。 ○年齢別おはなし会 ・0歳児向け（毎週木曜/4月より再開）44回開催 579人参加 ・1～2歳児向け（毎週火曜/5月より再開）43回開催 434人参加 ・3歳以上向け（毎月第4土曜/6月より再開）10回開催 167人参加 ○えほんとわらべうたの会 2回開催 68人参加 ○ガラスにお絵かきワークショップ 1回開催 19人参加 ○クリスマスしかけ絵本ワークショップ 1回開催 19人参加 ○ぬいぐるみおとまり会 1回開催 16人参加	 <p>●ガラスにお絵かきワークショップ</p> <p>●ぬいぐるみおとまり会</p>																		
		達成度	A	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○年齢別おはなし会はすべて4月より開催 ○絵本とわらべうたの会 2回 ○ガラスにお絵かきワークショップ 2回 ○クリスマスしかけ絵本ワークショップ 1回 ○ぬいぐるみおとまり会 2回																			
34-①	地域支援係	■「親子で利用したい図書館」の研究【新規】	子どもと図書館へ行きたいと思っても「騒がしくて他の人に迷惑をかけるかも？」と躊躇する子育て世代に対して子どもと一緒に楽しめるおしゃべりタイムなど「親子で利用したい図書館」の調査研究を進めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○中央図書館では、子ども向けの本と一般向けの本を分けて配架しているが、新たな取組として、親子が一緒に利用できるコーナーを設ける検討をすすめた。																			
		達成度	B	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○乳幼児向けの絵本と育児に関する本を1か所にまとめたコーナー「PAPA MAMA BOOKS」を新たに設けることで親子で利用しやすい雰囲気をつくる。 ○図書館は静かな場所であればならないと思っている利用者も多い。少しずつ意識を変えていく取組を検討する。																			
34-②	企画担当係	■「親子で利用したい図書館」の研究【新規】	子どもと図書館へ行きたいと思っても「騒がしくて他の人に迷惑をかけるかも？」と躊躇する子育て世代に対して子どもと一緒に楽しめるおしゃべりタイムなど「親子で利用したい図書館」の調査研究を進めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○子育て関連施設との複合化により親子で賑わう図書館や、会話可能エリアと静かなエリアを分けて音環境をコントロールする事例等の調査研究を行った。																			
		達成度	A	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き「親子で利用したい図書館」の調査研究を行う。																			
◆取組の方向性◆ (2) 市民が子どもの読書活動推進の意識を共有する																							
⑤読書に関する保護者への啓発																							
35-①	地域支援係	■家庭読書の普及・啓発	乳幼児期から家庭で読書を楽しむ機会を増やす取組として、小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を実施します。また、子ども読書の日などに合わせて、読み聞かせや展示、映画会などの行事を行うとともに、読書の日や読書活動の啓発に努めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○子ども読書の日（4月23日）前後及び子どもの読書週間（4月23日～5月12日）にあわせて、「おはなしの花だん」（4月16日～5月19日）を中央図書館、地区図書館、えほん図書館で行い、各館でおはなし会や特別展示などの行事を行った。 ※「めざせ！えほんマイスター」はえほん図書館で実施。	 <p>●ピンゴまつり</p>																		
		達成度	B	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○令和5年度子どもの読書週間特別行事「おはなしの花だん」を実施予定。 ○一般向けに読み聞かせなどの講座を行い、家庭読書の普及を目指す。																			
35-②	えほん図書館	■家庭読書の普及・啓発	乳幼児期から家庭で読書を楽しむ機会を増やす取組として、小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を実施します。また、子ども読書の日などに合わせて、読み聞かせや展示、映画会などの行事を行うとともに、読書の日や読書活動の啓発に努めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 「めざせ！えほんマイスター」を継続実施した。 ○令和4年度新規登録者=543人（累計3,234人） ○令和4年度千冊達成者=128人（累計621人） ○新規登録キャンペーン 新規登録を促すため、子ども読書の日である4月23日から5月24日まで実施。期間中の新規登録者は77人で、平常時よりも増加した。	 <p>えほんマイスター達成者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>累計</th> <th>達成者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018</td> <td>83</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>132</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>164</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>114</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>128</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table>	年	累計	達成者数	2018	83	83	2019	132	132	2020	164	164	2021	114	114	2022	128	128
		年	累計	達成者数																			
2018	83	83																					
2019	132	132																					
2020	164	164																					
2021	114	114																					
2022	128	128																					
達成度	A	【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○「めざせ！えほんマイスター」を継続実施。令和5年度も子ども読書の日である4月23日から5月23日まで新規登録キャンペーンを実施予定。																					
36	学校教育部	■保護者に向けた読書に関する情報発信	幼児が絵本や物語などに親しみ、読み手と心を通わせる楽しさを味わうことができるように、保護者に対して幼児期の読書に関する情報発信や保護者自身が読み聞かせを体験する講座を市立幼稚園で行います。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○保護者自身が読み聞かせを体験する講座は実施していないが、PTA主催の講習会で、園長が親子で絵本に親しむことをテーマに講演している園がある。 ○懇談会やお便り、掲示物によって、幼児に人気のある絵本や読み聞かせの良さ、遊びに発展した取組などを保護者に知らせている。絵本の貸し出しや月刊絵本を毎月配付することなどを通じて、親子で絵本に親しむ機会をつくらせている。																			
		達成度	B	【令和5年度（2023年度）取組目標】 幼児が絵本や物語などに親しみ、読み手と心を通わせる楽しさを味わうことができるように、保護者に向けた幼児期の読書に関する情報発信を市立幼稚園で行う。																			

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
37	新琴似図書館	■保護者のための読み聞かせ講座	乳幼児・小学生の保護者を対象に、図書情報専門員が絵本読み聞かせの基本に関する講座を開催することで、保護者が読み聞かせの重要性を学ぶ場を提供します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○大規模改修工事（7月～11月）が予定されたため、他館での代替実施に向けて事務局（調整担当課）が調整を行ったが、結局他館でも実施できなかった。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○絵本読み聞かせについて専門知識等を有する図書情報専門員が講師となり講座を実施。将来的には他の図書館でも実施できるよう、事務局（調整担当課）と協議し検討を行う。	
⑩子どもが読書に関心を持てる働きかけ 重点					
38-①	地域支援係	■読書習慣を身に付けるきっかけづくり	進路探究の講話を踏まえ、図書館資料を活用して作品を制作する「小中学生向けキャリア教育事業」や、就学前の子どもの保護者を対象に、本の楽しさを体験しながら、自然と本に親しむ「図書館デビュー」のイベントなど、進んで読書習慣を身に付けるきっかけづくりに取り組んでいます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○小中学校3校で進路探究の講話を行う「小中学生向けキャリア教育事業」の実施（計140人参加） ○小学生を対象とした、プロのデザイナー岡田善敬氏による「ブックデザインワークショップ」の開催（40人参加） ○100冊読むごとに「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジ等がもらえる「めざせ！子ども館長」の取組 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○これまでの実績を踏まえた上で、新たな取組みやレベルアップをオンラインの活用も含めて行い、さらに効果ある事業となるように検討・実施。 ○「読書ノート」「めざせ！子ども館長」を継続して実施する。	 <p>●ブックデザインワークショップ</p>
38-②	えほん図書館	■読書習慣を身に付けるきっかけづくり	進路探究の講話を踏まえ、図書館資料を活用して作品を制作する「小中学生向けキャリア教育事業」や、就学前の子どもの保護者を対象に、本の楽しさを体験しながら、自然と本に親しむ「図書館デビュー」のイベントなど、進んで読書習慣を身に付けるきっかけづくりに取り組んでいます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 「図書館デビュー」を段階的に再開した。 ○「ヨムくんの動画」（図書館デビュー代替企画）制作、5月配信 ○「図書館デビューミニ」（各回定員21人）6、7、9月計3回×午前午後開催 92人参加 ○「図書館デビュー」（各回定員45人）10～3月計6回×午前午後開催 412人参加 【令和5年度(2023年度)取組目標】 「図書館デビュー」を年間10回開催予定。新型コロナに係る国の方針等を踏まえ、定員の見直し等を検討。	 <p>●ヨムくんの動画</p>  <p>●図書館デビュー</p>
39	地域支援係	■子ども向け図書館情報の発信	図書館ホームページ（キッズページ、ティーンズページ）による情報発信により、読んで楽しく、学習や生活に役立つページづくりに取り組んでいます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○キッズページで児童向け行事について案内 ○令和4年度から中央図書館Instagramで、展示や行事を紹介 ○毎月発行する「こどもの森だより」で、行事や展示、おすすめ本などを紹介 ○ティーンズページについては、実施した行事「おすすめ本POPコンテスト」の情報発信のみとなった。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○これまでの取組に加えて、中央図書館員Instagramの活用も含めて中高生向けの情報発信を増やす。	 <p>●キッズページ(図書館ホームページ)</p>
40	地域支援係	■子ども向け行事の実施	おはなし会や工作会、司書体験などを開催し、読書への興味関心を高めます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことから、各種行事を再開することができた。 ○小学校低学年までを対象とした映画会を実施（計2回、計28人参加） ○小学1、2年生を対象としたぬいぐるみのおとまり会を実施（計2回、計18人参加） ○小学3～6年生を対象とした一日司書体験を実施（1回、6人参加） ○小学生以下を対象としたせかいの絵本おはなし会を国際交流員を招いて実施（1回、19人参加） ○季節ごとに本ののしめ袋を実施（4回） ○春のピンゴまつりを令和4年4月から6月に開催（600人参加） ○謎解きイベントを令和4年10月から11月に開催（98人参加） ○おすすめの本のジャンルが分かる「よむくじ」を令和5年1月に開催（411人参加） 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○各行事が好評であったため、今後も継続して実施する。	 <p>●ぬいぐるみのおとまり会</p>
41-①	地域支援係	■乳幼児向け読書の展示やブックリストの充実	乳幼児期の読書のきっかけづくりとして、また、読書への関心が高まるように、乳幼児が興味を持つ対象や季節の行事などをテーマとした展示を行うほか、年齢別・テーマ別ブックリストの配布を行います。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○乳幼児の読書のきっかけづくりとして、季節の行事や、その他乳幼児が興味を持つようなテーマでの展示を行っている ○ファザリング・ジャパン北海道と連携して「パパに読んでほしい本」をテーマにした展示を行い、ブックリストを配布した ○袋の中に入っているか分からない状態で貸出をする「本のおたのしみ袋」は、季節ごとに年4回実施。0～2歳向け、3～5歳向けなどの袋も用意し、読書のきっかけづくりを行った。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○好評であるため、今後も継続して実施する。	 <p>●本のおたのしみ袋</p>
41-②	えほん図書館	■乳幼児向け読書の展示やブックリストの充実	乳幼児期の読書のきっかけづくりとして、また、読書への関心が高まるように、乳幼児が興味を持つ対象や季節の行事などをテーマとした展示を行うほか、年齢別・テーマ別ブックリストの配布を行います。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○特設展示コーナーにて、子どもが興味を持つ「動物」「食べ物」「お仕事」等、季節の行事の「たなばた」「ハロウィン」「クリスマス」等をテーマに展示を行った。当初計画17回に加え、絵本作家追悼その他の臨時展示を加え計26回となった。 ○年齢別・テーマ別ブックリストを主に貸出券登録時に配布するほか、札幌市電子図書館で公開している。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○令和4年度の取組を継続。特設展示は17回を予定。	 <p>●ブックリスト</p>  <p>●特設展示「ウキウキわくわくえほんどうぶつえん」</p>
42	地域支援係	■小中高生向けのブックリストの情報提供	小学生向けに読んでほしい本のリスト化、中学生向けには、北海道にゆかりのある作家や映画の原作本など関心の高い本を積極的に展示するなど、積極的な情報提供により読書のきっかけづくりに取り組んでいます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○特設展示コーナーにて、子どもが興味を持つ「動物」「食べ物」「お仕事」等、季節の行事の「たなばた」「ハロウィン」「クリスマス」等をテーマに展示を行った。当初計画17回に加え、絵本作家追悼その他の臨時展示を加え計26回となった。 ○年齢別・テーマ別ブックリストを主に貸出券登録時に配布するほか、札幌市電子図書館で公開している。 ○中学生に関心の高く思われる「留学・海外生活」や「部活」などをテーマに展示を行った。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○積極的な情報提供により読書のきっかけづくりに取組むため、今後も継続して実施する。	 <p>●小中高生向けのブックリスト(図書館ホームページ)</p>
◆取組の方向性◆ (3) 発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む					
⑪幼少期に読書に親しめる環境の充実					
43	子ども未来局子育て支援部	■絵本とふれあう機会の充実(さっぽろ親子絵本ふれあい事業)	親子が心ふれ合うきっかけをつくるため、乳幼児健診時に絵本を配布し、家庭での読み聞かせに関する情報を提供します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○10か月児健康診査が任意となったため4か月児健康診査の際に、さっぽろ親子絵本ふれあい事業として絵本を1冊配布した。 ○子どもと保護者のふれあいの機会になるよう、新たに読み聞かせ動画を作成し、子育て情報サイト等で配信している。 ■令和3年度 13,071冊 ■令和4年度 11,320冊 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○現状維持により実施する。	


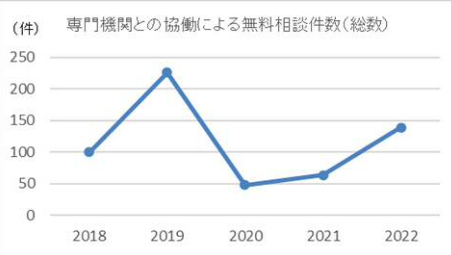

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
44	えほん図書館	■幼稚園・保育所などの団体利用	えほん図書館において、幼稚園や保育所などの園児を団体で受け入れ、読み聞かせや、資料閲覧等の読書活動に関するサービスを提供します。また、来館できない幼稚園や保育所などへ図書館職員が出向く訪問おはなし会も実施します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○館内利用は、令和3年度に再開した館内閲覧に加え、6月からおはなし会付きプログラムを再開した。新型コロナウイルス対策のため定員を半数の15人に制限した。延べ11回（同団体の1日2回利用を含む）の館内利用があり、内3回おはなし会を実施。 ○訪問おはなし会は新型コロナの影響により実施を見合わせた。	 <p>●団体利用</p>
		達成度	A	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○館内閲覧及びおはなし会付きプログラムを継続。新型コロナに係る国の方針等を踏まえ、定員の見直しや訪問おはなし会の再開を検討する。	
45-①	地域支援係	■絵本・児童書の充実	子どもの読書環境の充実に向けて、絵本・児童書の蔵書数の維持と増加に取り組めます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○絵本受入れ冊数（全館）8,663冊 ○児童書受入れ冊数（全館）9,482冊 ○児童書（絵本を含む）の蔵書数（全館）652,444冊(前年度比 ▲1,386冊)	 <p>(冊) 児童書(絵本含む)の蔵書数(全館)</p>
		達成度	B	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○子どもの読書環境の充実に向けて、絵本・児童書の蔵書数の維持と増加に取り組む。	
45-②	えほん図書館	■絵本・児童書の充実	子どもの読書環境の充実に向けて、絵本・児童書の蔵書数の維持と増加に取り組めます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○令和4年度は、以下のとおり資料を追加・更新し、蔵書冊数は約27,800冊となった。 ・絵本約1,370冊、紙芝居約40冊 ・絵本に関する一般書約40冊、雑誌約140冊 ○開館時より、絵本の魅力を伝える工夫として、以下の取組を行っている。 ・子どもの目線に合わせ低書架に統一 ・表紙が見える陳列を多くする ・人気のあるテーマを別置で展示 ・子どもに身近なテーマや季節等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら紹介（令和4年度：「ハロウィンの絵本展」「ピクニック ピクニック」等） ・年齢別、テーマ別ブックリストを配布 ○当館の施設規模を考慮すると、これ以上の書架の増設は困難であること、また、当館の対象年齢が乳幼児のため、図書の劣化の進行が速いことから、今後は買替えによる図書の更新を進めていく必要がある。なお、当館の蔵書が比較的きれいな状態であることから、未就学児が直接手に触れることについても安心できると来館者が支持している状況も見受けられる。	
		達成度	A	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○上記の状況から、買替え等を考慮しながら、複本調整や新刊の選択的収集を行っていく。 ○引き続き館内の特設展示コーナーやジャケット架で絵本を紹介していくとともに、ブックリストを活用し、来館者への情報提供に努めていく。	
⑩学齢期に読書に親しめる環境の充実					
46	学校教育部	■読書に親しむ機会の充実	各学校における始業前や教科の時間を使った一斉読書を実施するとともに、休み時間や放課後の時間を活用した読み聞かせやブックトーク、新刊本の紹介など、子どもの読書意欲の向上を図る機会を促進します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○朝の一斉読書の実施率は小学校97%、中学校97.9%と、新型コロナウイルス感染症の感染対策の影響で100%に達することができなかったものの、引き続き、本に親しむ機会の充実が図られた。 ○小学校においてはボランティア等、中学校においては図書委員会(局会)や学校司書による読み聞かせの実施、図書紹介等を行い、読書意欲の向上を図った。また、「特色ある図書館活用取組発表」において、読書活動に係る取組を実施し、札幌市公式ホームページ等において成果を発信・啓発を行った。	 <p>読み聞かせ(司書)</p>
		達成度	B	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○令和5年度も令和4年度同様に取り組む。	
47	地域支援係	■小・中学校向け学習支援及び学校司書の支援	小・中学校向け学習支援及び学校司書の支援	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○小学校4校、中学校1校、特別支援学校2校の総合学習等での施設見学の受け入れを行い、合計243人の児童生徒が来館した。 ○北海道学校図書館協会の方を講師に迎え市内中学校の学校司書を対象とした「学校司書向け研修」を実施した。対面形式のほか当日出席できない方を対象に動画配信も行った。 ○図書館職員向けに実施した「児童サービス研修」について、市内中学校の学校司書や司書教諭等も受講できるよう動画配信を行った。	 <p>●学校司書向け研修</p>
		達成度	A	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○小中学生の施設見学・職場体験等の受け入れ及び学校司書向けの研修は、今後も継続して実施する。 ○学校図書館運営に関する相談窓口として中央図書館のメールアドレスを中学校に周知する。併せて、学校司書から寄せられた質問に対しQ&Aを作成し配布する。	
⑪特別な支援を要する子どもの読書環境の充実					
48	図書館サービス係	■障がいのある子どもたちへの対応の充実	視覚障がい者情報センターなどの連携をより促進するとともに、障がいのある子どもも楽しめる展示絵本や大活字本、布の絵本、デジタル絵本など、多様な障がいに対応した本の収集に努めます。障がいのある子どもが図書館を利用しやすいように、様々なサービスのありかたについて検討を進めます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○北海道視覚支援学校を訪問し、図書館の利用について検討。 ○北海道視覚支援学校生徒（4年生・3名）の社会科見学授業の受け入れ。（館内案内を実施）	
		達成度	A	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○北海道視覚支援学校と連携し、障がいのある子どもが図書館を利用しやすいよう様々なサービスを検討していく。	
◆取組の方向性◆ (4) 子どもの興味や関心に応じた活動を支援して物事を探究する姿勢を養う					
⑫子どもの読書を支える人への支援					
49	学校教育部	■司書教諭に対する研修の充実	札幌市では、子どもの読書活動や学習活動を支えるため、司書教諭や学校司書、開放司書、開放ボランティア、幼稚園教諭、保育士等への研修の実施など、人材育成や職員の資質向上を支援し、読み聞かせ等の実践的能力の向上や、学校図書館運営の充実にもつなげていきます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○学校における司書教諭の役割や学校図書館運営に関し、令和4年度、新たに司書教諭となった方及び学校司書等に対し、「令和4年度札幌市司書教諭等研修」を6月に実施した。学校図書館の運営・活用等に関する事前動画研修及び、講師による図書館づくりについての講話及びワークショップ、施設見学を行うことで、司書教諭等が適切に図書館運営ができるよう取り組んだ。 ○学校図書館の運営・活用に関するテーマに応じた協議・演習を実施する等、実践的な研修を継続していく。	
		達成度	A	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○令和5年度、新たに司書教諭となった方及び学校司書等に対し、「令和5年度札幌市司書教諭等研修」を実施していく。また、講師による、学校図書館の役割や運営・活用に関する講話や、図書・情報館の視察等を通して、学校図書館運営について考え交流する取組などを実施していく。	
50-①	子ども未来局子育て支援部	■幼稚園教諭や保育士等に対する研修の充実	絵本の意義や選び方、読み聞かせなどについて、幼稚園教諭や保育士等に対する研修を行い、能力の向上を図ります。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○令和4年度は絵本をテーマにした職員研修はなし。 ○各施設において、絵本や読み聞かせについての資質向上の機会を図った。	
		達成度	A	【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○令和5年度は絵本をテーマにした職員研修はなし。 ○各施設において、絵本や読み聞かせについての資質向上の機会を充実させていく。	







さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
50-②	学校教育部	■幼稚園教諭や保育士等に対する研修の充実	絵本の意義や選び方、読み聞かせなどについて、幼稚園教諭や保育士等に対する研修を行い、能力の向上を図ります。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○絵本に親しみ、お話の世界に浸ったり、再現したりして遊ぶ中で、幼児のどのような育ちや経験につながるのかについて実践例を具体的に示す研修を実施した。受講者は、絵本を通して子どもたちがイメージを共有し、遊びや活動に展開していく流れなどを学ぶことができた。受講者数115名。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○令和5年度については、絵本をテーマにした職員研修の予定はないが、各施設において絵本の意義や選び方、読み聞かせについての資質向上の機会を充実するため、研究実践園の実践を発信する。	
		達成度	A		
51	地域支援係	■学校司書や学校開放図書館ボランティアに対する研修の充実	学校司書（中学校）、学校図書館ボランティア（小学校）に向けた研修を行い、学校図書館の充実を図ります。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○北海道学校図書館協会の方を講師に迎え市内中学校の学校司書を対象とした「学校司書向け研修」を実施した。対面形式のほか当日出席できない方を対象に動画配信も行った。 ○図書館職員向けに実施した「児童サービス研修」について、市内中学校の学校司書や司書教諭等も受講できるように動画配信を行った。 ○コロナ禍以降、学校図書館ボランティア及び開放図書館に向けた研修は実施していない。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○学校司書向けの研修は、今後も継続して実施する。 ○学校図書館ボランティア及び開放図書館には経験の浅い方からベテランの方まで様々な方がいる。なるべく多くの方が対象になる内容で研修の実施を検討する。	
		達成度	B		
②子どもの読書推進に向けた関係団体との連携					
52	学校教育部	■学校と研究機関等との連携	民間教育研究団体をはじめ、小中学校の教諭や民間企業インストラクター等を講師として、学校における司書教諭の役割や学校図書館の運営・活用に関する実践的な研修を実施するとともに、札幌市における取組の実践について研修し、実践能力の向上を図ります。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○札幌市教育センターが主催する、全教職員を対象とした専門研修において、子どもが読書に親しむ取組や、学校図書館の役割と活用などを学ぶオンデマンド研修を実施した。 ○小中学校の教諭や民間企業インストラクター（探調ツール：学校図書管理ソフトの操作等）を講師とした司書教諭及び教職員向けの研修講座を実施することで、学校図書館の円滑な運営が図られた。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○全教職員を対象とした専門研修において、子どもの読書活動の充実や、学校図書館利用・管理運用に関わる司書教諭および教職員向けのオンデマンド研修講座を実施していく。 ○新たな学校図書管理システムの運用に向けて、民間企業インストラクター講師による司書教諭及び教職員等向けの研修を実施していく。	
		達成度	A		
53-①	地域支援係	■図書館と研究機関・他の図書館との連携	幅広い分野で子どもの読書活動を進めるため、研究機関や児童書専門の図書館などと協力して事業を実施するなど、連携を推進していきます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○札幌市周辺地域にある教育施設が加入しているCISEネットワークが制作した「調べる学習支援トランクキット」の貸出を市立中学校に行った。また、CISEネットワークが主催したオンライン講座とトランクキットの展示会「石狩湾をもっと知ろう！」を中央図書館で実施した。 ○大学や研究機関の講師を招いて講演を行う「サイエンス・フォーラムinさっぽろ」を実施（2回） 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○「調べる学習支援トランクキット」の貸出は人気のある取組なので継続する。 ○研究機関や大学との連携を行うことで、市民がさまざまな情報を得られる場を提供していく。	 <p>●トランクキットの展示会「石狩湾をもっと知ろう！」</p>
		達成度	A		
53-②	えほん図書館	■図書館と研究機関・他の図書館との連携	幅広い分野で子どもの読書活動を進めるため、研究機関や児童書専門の図書館などと協力して事業を実施するなど、連携を推進していきます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○ふきのとう文庫制作の布絵本を所蔵し、同文庫の刊行物「ふきのとう文庫だより」を配架して活動を紹介している。布絵本は閲覧不可としていたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み館内閲覧を再開した。同文庫とは布絵本の取扱の相談を含め必要に応じて情報交換を行うこととしている。また、絵本専門図書館であるという特徴から、他の自治体や図書館及び関係者による視察等を受け入れる機会が多く、情報交換を行っている。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○ふきのとう文庫との情報交換及び同文庫の情報発信を継続していく。また、他の図書館等による視察等を受け入れ、情報交換を行っていく。	 <p>●布絵本所蔵リスト</p>
		達成度	B		
54	えほん図書館	■図書館とボランティア団体との連携	えほん図書館において、登録ボランティア団体の活動の場を提供するとともに、個人ボランティア「えほん図書館サポーター」と返本等のフロア活動や絵本修理等で連携して図書館運営を推進します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○登録ボランティア団体 6月よりボランティア団体による行事を再開した。新型コロナ対策のため定員を20人程度とし、年度途中からは土日祝に限り会場を広げて定員40人程度での開催も可能とした。8団体がおはなし会等の行事を計45回開催し、参加者は合計672人だった。 ○個人ボランティア 「えほん図書館サポーター」が絵本修理を行った。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続きボランティア団体による行事の場を提供し（新型コロナの状況に応じ定員の見直し等も検討）、えほん図書館サポーターによる絵本修理等の活動をサポートする。	 <p>●ボランティア団体行事（わらべうたと絵本の読み聞かせ）</p> <p>●ボランティア団体行事</p>
		達成度	A		
基本方針3 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備					
◆取組の方向性◆ (1) 全ての市民の課題解決を支援する					
②市民の身近な課題解決の支援					
55	図書・情報館	■身近な課題解決の支援	図書館の資料と情報だけでは解決が難しい課題について、専門機関や団体を紹介するサービスを充実させ、多面的な情報収集を図ることで課題解決の支援を行います。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 当初計画19件（うち1件中止）に、計画外案件の5件を合わせた合計23件のセミナーを実施した。 ○Work（仕事に役立つ）関連 起業に役立つセミナーやビジネススキルの向上につながるセミナーを開催した。13件開催、計535人参加。 「みんなでつくるみんなの本屋」「VR市場の今と未来」「簡単！ビジネスで役立つ撮影テクニック」「社会貢献」で起業する ソーシャルビジネスセミナーin Sapporo 「つくり手から学ぶ北海道のワイン」「自分でできる商圏分析！」「女性のための起業のヒント」「First Step! はじめての創業セミナー」「自分でキャリアプランを描け」と今さら言われても「落語でビジネス書」「スポーツによるまちづくりフォーラム in SAPPORO」「起業実現にむけた上手な相談のしかた」「好きから始める未来への一歩」 ○Life（暮らしを助ける）、Art（芸術に触れる）関連 暮らしの課題解決に役立つセミナーや芸術に関するセミナーを開催した。10回開催、計574人参加。 「シアターキノ×Seesaw Booksクロストーク まちの文化は「場」づくりから」「現代アートってなんだろう？」「あなたも『喜楽にクラシック』♪」「NoMaps連携企画トークイベント」「寄せ鍋ライフのすすめ」「ときめき」はチカラだ」「法テラス劇場「成年後見と相続」」「今から知っておきたい新しい相続のルール」「さあ、始めよう！将来のお金の不安を「ゼロ」にするための『資産形成講座』」「アートと科学哲学からの、想像力をめぐる対話」 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き、専門機関と連携を深め、ビジネスパーソンを中心に図書・情報館の各種サービスに興味を持ってもらえるような、または起業や仕事に役立つセミナーを実施する。 ○専門団体と連携し、暮らしの課題解決に役立つセミナーや利用者のニーズに沿ったセミナーを開催する。 ○市況環境の変化や、外的条件に即応するため、当初計画外の案件にも柔軟に対応できる体制を整える。	 <p>●起業に役立つセミナー</p>
		達成度	A		

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況(令和4年度(2022年度))

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度(2022年度)の取組結果(成果・課題)	参考(グラフ・写真・ホームページ等)
				令和5年度(2023年度)の取組目標	
56	図書・情報館	■働く世代の学びの支援【新規】	知的好奇心が湧くような選書や図書展示を通じて、より豊かな社会生活を営むための暮らしや仕事に役立つ情報を提供し、働く世代の学びを支援します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○庁内連携取り組みとして、庁内の事業と連携した展示を6件行い、庁内事業の認知拡大に寄与した。 ○アート展示では、SIAFやhitaruとの連携展示をはじめ、オリジナル展示を含めた計14件の展示を行った。特に外部団体との連携展示では、専門家による選書やおすすめコメント展開など、立体的な施策構築をすることができた。 ○セミナーを通じた活きた情報の提供はもとより、より学びを深めるためのセミナー連携展示を11件行った。 ○上記の他、オリジナル展示を6件行った。 ○司書が今一番読んでほしい図書をトピック別に選書し、集積させた棚「本のハコニワ」を継続展示。入替数44回。 ○司書の「人」が見える、リアルならではの企画展示として、「知のかけら」(年度内入替数8回)「知のひらめき」(同2回)を継続展示。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○資料の展示はもとより、庁内、専門機関や団体との連携によって、展示に付加価値を盛り込むことにより、市民、連携機関、札幌市図書館の3者価値を実現するための企画を行う。 ○資料の展示のみならず、セミナーやイベントの場を活用し、最新の情報を提供することを目的とした取り組みを行う。	 <p>●セミナー連携展示</p>
②レファレンス機能の更なる充実					
57	図書・情報館	■専門機関との協働による無料相談窓口の実施【新規】	専門機関による相談窓口では相談員と司書の連携を深め、相談内容に応じてレファレンスや資料提供を共にできる仕組みを検討します。また、当該機関と連携しセミナーを実施します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○外部専門団体による無料相談会を2階カウンターにて毎週開催した。(日本政策金融公庫、北海道よろず支援拠点、法テラス札幌、札幌青年司法書士会)計171回開催、相談件数139件。 ○サービスの認知度を向上させるため、外部専門団体との連携セミナーを計4回開催し、特設展示も行った。積極的にほかの施策と連携させることで、単月実績ながら、2月実績では計15回開催、相談件数29件を記録した。 ○開設数あたりの相談件数は前年比で102%と伸びているが、開催回数に満たない相談件数である。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○各専門機関とともに連携セミナーの開催のみならず、認知の拡大や利用の促進のため、新たな施策を企画する。 ○告知面においても、館内告知のみならずSNSなどのリソースを活用することで、相談件数に繋げるための取り組みを行う。	 <p>(件) 専門機関との協働による無料相談件数(総数)</p>
58-①	調査相談係	■レファレンスサービスの充実と利用促進	商用データベースの利用促進、パスファインダー(調べもの案内)の新規作成と改訂など、レファレンスサービス充実を努めるほか、メールレファレンス、レファレンス関連のホームページの充実などの非来館型サービスを継続します。併せて、情報活用に関する個別のミニセミナー開催についても検討します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○パスファインダーについては、情報更新を9件、新規1件を作成し、紙媒体での配布及びホームページ上で公開した。 ○カウンターや電話、メールで受け付けたレファレンス事例を蓄積し、そのうち令和4年度は16件を国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に情報提供し、事例公開を行った。 ○レファレンスサービスの認知度を高めるため、SNSを利用し、情報発信を行った。(3回) ○参考資料コーナーにレファレンスで利用した資料を紹介するミニコーナーを設置した。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き、SNSを活用してレファレンスサービスについての周知に努める。 ○相談者が適切な情報を得られるよう、効果的な研修を行い、職員のリファレンス力の向上を図っていく。 ○商用データベースの使用方法を紹介するミニガイダンスの開催について検討していく。	 <p>レファレンス件数及び商用データベース利用件数(中央館)</p>
58-②	図書・情報館	■レファレンスサービスの充実と利用促進	商用データベースの利用促進、パスファインダー(調べもの案内)の新規作成と改訂など、レファレンスサービス充実を努めるほか、メールレファレンス、レファレンス関連のホームページの充実などの非来館型サービスを継続します。併せて、情報活用に関する個別のミニセミナー開催についても検討します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○レファレンス事例を蓄積し、半年に一度全館へ情報提供したほか、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」へ事例公開をした。 ○利用者自らが棚にスムーズにたどり着けるようテーマを工夫した棚作りをしている。またビジネス支援については所蔵資料の案内にとどまらず、定期的に開催している無料相談につなげている。 ○レファレンスサービスの認知度を高めるため、市民交流プラザ広報誌「WAVE TIMES」や当館のSNSを利用し情報発信している。 ○10月に、市場情報評価ナビ(MieNa)に関するセミナーを開催し、操作や活用方法を学んでもらった(参加者数:20名)。また、セミナー後は希望者に端末を操作してもらう体験の時間も設けた。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○ビジネスパーソンをはじめ多くの方にレファレンスサービスを知ってもらい、利用してもらえようSNS等でPRをしていく。 ○相談者が適切な情報を得られるよう、効果的な研修を行いレファレンス力の向上を図っていく。 ○データベースの利用率を上げるため、データベースに関するセミナーを引き続き開催する。	 <p>レファレンス件数及び商用データベース利用件数(図書・情報館)</p>
◆取組の方向性◆(2) 身近な地域の学びの場としての機能を強化する					
②市民の生涯にわたる学びの支援					
59	生涯学習部	■さっぽろ市民カレッジの充実【新規】	市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習センターを拠点に、体系的な学習機会提供事業「さっぽろ市民カレッジ」を、市内の図書施設で実施します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○市民が講師を務める「ご近所先生企画講座」として、スマートフォンやタブレットの使い方を学ぶ講座や、暮らしに役立つ講座など、市内の図書施設において11講座を開講し、142名が受講した。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○「ご近所先生企画講座」は受講者の希望が規定人数に満たない場合は開講に至らないため、市民への学習機会の確保の観点から、より多くの講座が開講できるよう、広報の手法を工夫するなどにより参加者の確保に努めたい。	●講座案内一覧(生涯学習センターホームページ) https://chieria.slp.or.jp/seminar/
60	地域支援係	■地域イベントへの参加検討【新規】	地域のイベント参加や連携などにより、読書支援に加えて、図書館の暮らしに役立つ「知の拠点」としての役割のPRを検討します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○認定NPO法人カルチャーナイト北海道が主催するカルチャーナイト2022(令和4年7月22日)に参加し、「図書館魔女からのすてきな魔法〜中央図書館謎解きラリー〜」を開催した。126名が参加した。 ○札幌駅前通地下広場で開催されたサイエンス・フェスティバルに出展し、図書館を利用していない方に対して利用案内や読書ノートなどの配布を行った。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○これまでの取組を継続するほか、図書館の外で開催されるイベントなどに出席して本の展示、ブックリストや利用案内の配布を行うなどの図書館サービスを広げていくための取組を行う。	
61	生涯学習部	■開放図書館新規開設の推進	地域人材を活用した運営を行ない、地域住民も利用可能な時間を設定している学校図書館(呼称:開放図書館)を増やします。また、ボランティアに役立つよう、開放図書館司書向け情報誌の発行による情報共有やシステムの操作研修などを行うとともに、引き続き、学校開放図書館地域開放協議会とも連携を図ります。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○当初は2校の新規開設を予定していたが、感染症等の影響により1校は延期となり、1校のみ開設を行うことができた。また、ボランティアのスキルアップのため、情報誌に各校の行事紹介や月報の作成方法等を掲載し、情報提供を行ったほか、学校図書館システムに関する集合研修を実施し、延べ94名の開放司書・ボランティアが操作方法を学んだ。そのほか、今年度7回実施された開放協議会に参加し、情報共有等を行うことで連携を図った。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○令和4年度に開設延期となった1校を含めた2校で新規開設を行い、学校と地域が連携した取組の拡大を図る。また、集合研修の実施や、優良事例等を掲載した情報誌の発行を行うことで、引き続きボランティアの活動を支えていく。そのほか、開放協議会に参加して情報共有等を行い、協議会の役員や司書理事との連携を図る。	
◆取組の方向性◆(3) 地域の生涯学習と情報の拠点としての機能強化に向けた検討を進める					
②地域の生涯学習拠点としての役割の検討 重点					
62	企画担当係	■地域の生涯学習の場としての地区図書館に関する調査・研究【新規】	図書館が地域の生涯学習の拠点とすることができるよう、講座や市民の交流・活動の場づくりに取り組んできた生涯学習センターと連携した事業を実施しながら、地域住民が学びを深め、自ら活動することができる環境づくりや施設の有効活用策について調査・研究します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○平成30年4月に定めた「図書館との連携を核とした生涯学習推進体制の方針」に基づいた生涯学習センターとの連携事業で、「さっぽろ市民カレッジ」の「ご近所先生企画講座」を中央図書館及び地区図書館で実施。 ○他都市図書館の訪問調査を含む近年の図書館サービスの動向について調査研究した。 ○地域特性調査(地区図書館等の訪問調査、市民活動団体への質問調査)、市民アンケート(無作為で選ばれた市民3,000人を対象、844人から回答)を実施し、めざすべき図書館像について調査研究した。 【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き、中央図書館及び地区図書館で「ご近所先生企画講座」を実施。 ○引き続き、地域の生涯学習の場としての地区図書館に関する調査研究を行う。	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
63-①	調査相談係	■図書館データベースのPR【新規】	便利な使い方のコツなどをデータベース別にセミナー、イベントを実施するとともに、展示、SNSなどを活用し、ビジネスパーソン等に向けてデータベースの周知強化を図ります。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○令和3年3月に作成したデータベースのパスファインダーを配架し、初めてデータベースを利用する利用者に配布した。 ○レファレンスを受けた際に調査に役立つデータベースを積極的に案内するなど、利用促進に努めた。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○利用状況を見ながら、導入しているデータベースの見直しについて検討していく。 ○商用データベースの使用方法を紹介するミニガイダンスの開催について検討していく。	 ●商用データベースのパスファインダー
		達成度	A		
		■図書館データベースのPR【新規】	便利な使い方のコツなどをデータベース別にセミナー、イベントを実施するとともに、展示、SNSなどを活用し、ビジネスパーソン等に向けてデータベースの周知強化を図ります。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○新聞・雑誌の記事や論文、法令、企業・業界情報など、様々なデータベース（23種）を用意し、起業を考える来館者が利用できるようにしている。データベースの利用件数は、3,173件（前年比140%） ○起業関連セミナーにおいて、図書・情報館の活用方法の一環で、データベースの概要を紹介した。 ○セミナーのテーマに合わせて、ブックリストを作成し配布した。 ○マーケティングに関するデータベースセミナーを開催した。 ○その他、庁内関連部署の担当者向けへのデータベースサービスの紹介や、商工会議所附属専門学校の演習授業と連携するなどを行った。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○データベースの利用を促進するため、セミナーでの紹介やSNS、動画などを活用した情報提供を行う。 ○単発のセミナー形式ではなく、各種施策と連携させることで多面的、かつ継続的な広報活動を行うことで、さらなる利用促進を図ることとする。	 ●図書・情報館のデータベース閲覧席
達成度	A				
64	調査相談係	■行政情報の活用等に関する検討	市政情報や他の行政情報等の活用・発信方法を検討し、市民に正確な情報を届ける場としての機能強化に努めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○札幌市の行政情報ピックアップコーナーの配架資料を整理し、わかりやすい情報発信に努めた。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○市政情報や他の行政情報等を集約した新しい棚等の設置について検討していく。	 ●札幌市の行政情報ピックアップコーナー
		達成度	A		
基本方針4 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営					
◆取組の方向性◆ (1) 将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める					
◎計画的な施設・設備の改修					
65	総務係	■図書館施設・設備の計画的な維持管理・改修	利用者の安全・安心を確保するため、引き続き、施設のユニバーサルデザイン化を進めるとともに、老朽化した施設・設備の維持管理及び改修を計画的に進めていきます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○新琴似図書館改修（工事：建具、外壁、屋上防水、外構、内部設備） ○山の手図書館接地点改善（工事：電気） ○書庫スペースの確保の関係部署等との継続検討、調整 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○中央図書館電気設備工事（工事：電気） ○山の手図書館改修（設計：工事） ○書庫スペースの確保の関係部署等との継続検討、調整	 ●新琴似図書館
		達成度	A		
◎図書館サービスに関する市民との協働の検討					
66	総務係・企画担当係	■満足度や評価についての調査の継続	日々利用者から寄せられる要望・苦情の分析、市民の満足度調査として利用者アンケートを実施します。これらについて、取りまとめた結果をホームページ等で公表します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○日々寄せられるご意見・ご要望について、都度、職員に共有し、業務改善に活かした。また、令和3年度に図書館へ寄せられた声について、内容別の件数をホームページに掲載した。 ○令和3年度の利用者アンケート結果をホームページに掲載するとともに、各図書館においてアンケート結果を掲示した。 ○各図書館及び各図書室において、令和4年度の利用者アンケート調査を実施した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、利用者から寄せられる要望等について分析し、業務改善に活かす。 ○引き続き、各図書館及び各図書室において利用者アンケート調査を実施する。	 満足度の推移（全館） 2011: 84.1% (満足), 10.8% (不満) 2012: 87.2% (満足), 9.1% (不満) 2013: 84.8% (満足), 11.1% (不満) 2014: 82.9% (満足), 1.1% (不満) 2015: 83.5% (満足), 2.8% (不満) 2016: 91.4% (満足), 0.7% (不満) 2017: 92.0% (満足), 6.6% (不満) 2018: 92.4% (満足), 8.2% (不満) 2019: 92.0% (満足), 6.4% (不満) 2020: 93.4% (満足), 5.1% (不満) 2021: 93.8% (満足), 4.4% (不満) 2022: 93.8% (満足), 4.4% (不満)
		達成度	A		
67	企画担当係	■地域住民の施設活用に関するニーズの調査・研究【新規】	地域住民が学びを深め、自ら活動する場として図書館を活用する際の基本的な考え方を整理するため、地域住民の意向や地域ニーズ、地域特性を踏まえた活用について調査・研究をします。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○中央図書館、地区図書館で実施された「ご近所先生企画講座」の受講生、司書課程学生図書実習の実習生に対してニーズ調査を行った。 ○地域特性調査（地区図書館等の訪問調査、市民活動団体への質問調査）、市民アンケート（無作為で選ばれた市民3,000人を対象、844人から回答）を実施し、めざすべき図書館像について調査研究した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、地域住民が学びを深め、自ら活動する場としての図書館の利活用について検討する。	
		達成度	A		
68	総務係・図書館サービス係	■寄附・寄贈募集手法の検討	図書館資料充実のため、本の寄贈にとどまらず、広く民間から寄付を募る手法について検討します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○HP掲載により寄付喚起を行った。 ○市職員へ図書への寄贈を呼び掛けた。 ○寄贈本を登録するまでの加速を図るため、「寄贈本処理マニュアル」を作成し取り組んだ。 ○中央図書館では約2万冊の寄贈を受けた。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。 ○民間からの寄付を募る手法について調査を行う。	
		達成度	A		
◎将来も継続できる図書館サービス 重点					
69	図書館サービス係	■適切な資料取扱に関する啓発及び取組【新規】	本の返却期限が守られない、借りた本を汚す・破損する、紛失するなど、一部のマナー違反により図書の円滑な利用が出来ないことから、利用者のマナー向上に繋げるため、広く市民に知らしてもらうための広報活動や、個々の利用者に対する効果的な返却期限順守の呼びかけ手法の検討などの取組を進めます。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○中央図書館日限票を活用し、適切な資料の取扱いについて周知。 ○図書館ホームページにおいて、「図書館の利用について」を掲載しマナー向上に取り組んだ。 ○令和4年度汚破損（弁償）件数：683件（全市） 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○引き続き、図書館HP、日限票を活用してのマナー啓発を行う。	 ●日限票
		達成度	A		
70	企画担当係・総務係	■広告導入についての検討【新規】	新たな収入源を確保し、持続可能な図書館運営に役立てることを目的として、図書館の資産を活用した広告導入について検討します。	【令和4年度（2022年度）取組結果】 ○広告導入にかかる他都市事例について、情報を収集した。 【令和5年度（2023年度）取組目標】 ○広告導入をはじめとする、図書館が収入を得る取組について調査研究を行う。	
		達成度	B		

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和4年度（2022年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和4年度（2022年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和5年度（2023年度）の取組目標	
71-①	図書館サービス係	■図書館の役割や在り方に関する調査・研究【新規】	「居場所としての図書館」、「利用者負担による郵送貸出」など社会の変化に応じた図書館のあり方について調査・研究を行います。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○令和4年1月から、ヨムヨム便（有料郵送サービス）を開始。 ○令和4年度ヨムヨム便利用件数：27件（236冊）	
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き、ヨムヨム便サービスを継続しつつ、「図書館のあり方」調査の報告内容に基づき、サービス内容を検討していく。	
達成度	A				
71-②	企画担当係	■図書館の役割や在り方に関する調査・研究【新規】	「居場所としての図書館」、「利用者負担による郵送貸出」など社会の変化に応じた図書館のあり方について調査・研究を行います。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○他都市図書館の訪問調査を含む近年の図書館サービスの動向について調査研究した。 ○地域特性調査（地区図書館等の訪問調査、市民活動団体への質問調査）、市民アンケート（無作為で選ばれた市民3,000人を対象、844人から回答）を実施し、めざすべき図書館像について調査研究した。	
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き、めざすべき図書館像について調査研究を行う。	
達成度	A				
②図書館の意義の周知・浸透					
72	情報化推進担当係	■図書館広報の充実	図書館の現状、方針、利用手続きなどを効果的に宣伝して利用促進を図るため、現状の広報方法にとどまらず、図書館全体としてSNS（ソーシャルネットワークサービス）、動画等の活用なども含め、広報活動を充実させます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○図書館全体としてのSNSを活用した広報活動として、Instagram（中央図書館、図書・情報館）、Twitter（えほん図書館）及びFacebook（図書・情報館）での情報発信を行ったほか、えほんの読み聞かせ動画などの配信を行った。	 ●ヨムくんの動画配信
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○図書館の利用促進を図るため、引き続きSNSや動画配信を活用するなど広報活動の充実に努める。	
達成度	A				
◆取組の方向性◆ (2) 社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じた図書館サービスの検討を進める					
③新たな時代の図書館サービスの検討					
73	総務係・図書館サービス係	■図書館における感染症対策の徹底【新規】	図書館利用者に安心してご利用いただけるよう新型コロナウイルスなどの感染症の対策を徹底する。また、感染予防に資する非接触サービスを検討します。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○手指消毒用機器やパーティションの設置、席の間引きのほか、館内の随時消毒、換気等の感染症対策を行った。	 ●手指消毒用機器  ●ビニールカーテン
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、情勢を注視しながら引き続き必要な対策を行う。	
達成度	A				
74	情報化推進担当係	■図書館システムの更新	図書館システム（蔵書検索・予約システム、電子図書館、図書・情報館座席予約システムなど）の利便性を高めるための改修作業を継続します。また、次期大規模更新に向け、課題を整理していきます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○令和5年3月にえほん図書館のシステム機器更新を行い、利用者の利便性向上のため自動貸出機の機種をグレードアップした。また、月1回システム保守業者と打ち合わせの場を設け、システム上の課題整理等を行った。	 ●えほん図書館の新しい自動貸出機
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○利用者からの意見・要望等を踏まえ、引き続き利便性向上に関する検討を進めるほか、次期大規模更新に向けた課題整理などを行う。	
達成度	A				
④図書館の運営を担う人材の育成					
75	調査相談係	■図書館職員研修の実施	市民対応等サービス向上のための基礎的研修を実施するとともに、派遣研修や外部講師による専門的な研修を行い職員の資質向上に努めます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○集合研修：対面だけでなく動画配信も併用し、多くの職員の参加を促した。 ・読み聞かせスキル研修・課題解決支援サービス研修・広報写真の撮影テクニック研修・児童サービス研修等 ○派遣研修：新型コロナウイルス感染症の影響で、道外で実施する研修は中止やオンライン、動画配信となり、自館での受講となった。 ・北日本図書館大会北海道大会・北海道図書館大会（自由視聴）・図書館地区別（北日本）研修・全国公共図書館研究会（自由視聴）・全国図書館大会・全道図書館専門研修・ビジネス・ライブラリアン講習会・読み聞かせサポーター講習会（対面3名） ○フィードバック研修：現地への派遣研修の実績がなく、実施しなかった。	 ●スキルアップ研修(集合研修)
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○専門的な図書館サービスのレベルアップを図り、今後の図書館活動の中核を担う人材を育成するため、引き続き派遣研修や外部講師による専門的な研修を行う。	
達成度	A				
◆取組の方向性◆ (3) 民間活力の導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法や施設配置を検討する					
⑤図書館運営の在り方や施設配置の継続的検討					
76	企画担当係	■民間活力導入の検討	将来にわたって図書館に求められる役割や市民ニーズ等に柔軟に対応するため、図書館運営のあり方について引き続き検討して行きます。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○他都市図書館の管理運営体制、それによるサービス内容や効果について調査した。	
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き、図書館運営のありべき姿について検討を行う。	
達成度	A				
77	企画担当係	■図書館のありべき施設配置についての調査・研究【新規】	効果的で持続可能な施設配置のあり方について調査・研究を行います。	【令和4年度(2022年度)取組結果】 ○札幌市がめざすべき図書館像について調査研究を行い、「札幌市市有建築物及びインフラ施設等の管理に関する基本的な方針」に沿った施設配置の検討を行った。	
				【令和5年度(2023年度)取組目標】 ○引き続き、適切な施設配置について調査・研究を行う。	
達成度	B				

※達成度について
 S 年度当初の目標を大きく上回る成果を得た。
 A 年度当初の目標どおりにできた。
 B 年度当初の目標と比較して概ね出来た。
 C 年度当初の目標と比較してあまり出来なかった。
 D 年度当初の目標と比較してまったく出来なかった。
 - 事業終了等